

2011年6月24日

社員各位

社長 川村龍俊

福島第一原発事故後の放射能とどう付き合うか

ベクレルは放射性物質が放射線を出す力
シーベルトは放射性物質を被爆する量
ベクレルを測れる装置は高価
放射線の力は距離の二乗に反比例するから遠ざかるとどんどん低くなる
地面や空気中にある放射性物質からは遠ざかることができない
体内に入ると絶対に遠ざけることはできない

チェノブイリ事故以降、世界的に決められ、日本でも法律になっている一般人の年間被爆許容量は「1ミリシーベルト/年」もしくは「5ミリシーベルト/5年」
放射線障害に「安全」はないが、これは、「10万人のうち5.5人が10~20年後に癌にかかる」という意味

「1ミリシーベルト」=「1,000マイクロシーベルト」
「1ミリシーベルト/年」は約「0.11マイクロシーベルト/時」×24時間×365日
「0.11マイクロシーベルト/時」の場所に一年間居続けると「1ミリシーベルト/年」の被爆をするという意味
「/時」で放射線量の検討をつけるなら、「0.11マイクロシーベルト/時」を基準としなければならない

現在の岩瀬地区は「1~2マイクロシーベルト/時」=「8.76ミリシーベルト/年」となる
「1ミリシーベルト/年」に比べて「8.76ミリシーベルト/年」になるとどのくらいひどいことになるかはわからない
癌にかかる人の割合が増えるだろうと容易に想像される

放射性物質は遺伝子を攻撃する
遺伝子は細胞分裂時に現れる
細胞分裂が活発なのは高い順に胎児・幼児・少年・青年となり、42歳以降はかなり不活発
放射線障害は若年に出やすい
ただし、数年~数十年後
その時点で癌や白血病を発見しても今回の原発事故が原因とは証明できないし、したところで治らない

福島第一原発の現在~将来において、今以上の放射性物質が撒かれることはない
3月12日の最初の爆発による放射性物質は須賀川にはこなかった
4月上旬、福島市にあった放射性物質が風によって運ばれ、国道4号沿いに須賀川へ来た以降、須賀川に落ちた放射性物質は減っていない
須賀川の中でも長沼地区・岩瀬地区は多い
数日前に岩瀬が一番多くなった

3月12日にまき散らされた物質は、ヨウ素・セシウム・ストロンチウム
水素爆発だったので金属は気化しなかったからまき散らされた放射性物質が特定できる
見えず臭わず

ヨウ素は水に溶け、体内では甲状腺に溜るので飲料水問題が起きた
ヨウ素の半減期が8日間で、現在爆発から90日以上経ったので、今はほとんど問題ない

ストロンチウムの量は微量だったのでこれも気にする必要はない

気にすべきはセシウム

セシウムの半減期は30年

煮ても焼いても消えない

体内に入ると筋肉にくっつくが、女性は子宮にたまる傾向が強い

塵や埃にくっつきやすい

空気中の放射性物質に触れるのは「外部被爆」

屋外より屋内の方が、低いところより高いところの方が、一般的に放射性物質は少ない(塵や埃と同じ)

外部被爆を抑えるためにできることは除染

室内は床や壁、家具、靴の裏を水がきして雑巾はポリ袋に入れて捨てる

屋外では塵や埃が溜りやすいところ(側溝、ぬかるみ、藪、森、芝生、公園、壁と地面の境等)に近づかない

塵や埃を「集めて」(集めると放射線量は高くなるが捨て場所がないので)「地中で拡がらないように埋める」

放射性物質は国の管轄下にあるため、国からの指示・許可なしに自治体は移動できない

呼吸と飲食によってとりこまれると「内部被爆」

体内での放射性物質が出す放射線は至近距離からの全方位攻撃なので、内部被爆は外部被爆の20倍危険と言われる

呼吸においては花粉症用のマスクが有効なので、とくに幼児や若者は積極的にマスクをすべき

水の心配はいらない

3月12日以降に収穫された汚染区域での作物は基本的に避ける(日本の安全基準は物笑い)

汚染区域での作物を買うときは「基準以下」表示でなく「ベクレル」表示を見て判断

特に危険な食物(吸収力が高い): 葉物野菜・キノコ・タケノコ・牛乳

学校給食に注意

内部被爆量の計算は大変難しいが、概略としてある地域に住み続けているのなら、成人でその地域の放射線量の3倍、幼児で4倍が「内部+外部」被爆量と見なせばよい。

その地域が「1マイクロシーベルト/時」なら、幼児で「4マイクロシーベルト/時」=「35ミリシーベルト/年」

人間には免疫力があるので、壊れた遺伝子を再生できる

発癌率が高くなっても、癌にかからない側に入れればよい

免疫力を高めるには、休む・笑う・いいものを食べる

休むには、一日7時間程度の睡眠、そして放射線量の低い場所への避難(休日の旅行、疎開等)

危険度判定は累積「足し算」だから、とにかく「5年で5ミリシーベルト/年」以下にすればよい

3ヶ月後から気をつけても82%、1年後であっても59%は十分セーフと思われる

笑いは、くよくよしないで、こういうことになっちゃったと受け容れて、ご機嫌に暮らすこと

いい食べ物は日本食(できれば玄米・自然塩・味噌・梅干し・海苔・わかめ・ゴマ等)

【厄を終えた男は女・子どもを守れ】

【突然、地球じゃないところに来てしまったと思え】

【テレビ・新聞・役所からだけの情報で安全と思うな】